

京都工芸繊維大学大学院 令和2年度
機械物理学専攻・機械設計学専攻
修士論文審査会プログラム No. 1

日時: 令和3年2月15日(月) 9:30~16:00
令和3年2月16日(火) 9:30~17:10
会場: 第1室(1141 講義室)

【第1日】2月15日(月)

		主査	副査
【9:30~12:00】(司会:森西教授)			
101	松井 一樹	バルブリフト量とバルブタイミングがシリンダ内タンブル流に与える影響の数値解析	森西 晃嗣 村田 滋 西田 耕介
102	上田 直輝	壁面に凹凸を有する微小流路内を流下する粒子の流動挙動に関する数値解析	森西 晃嗣 北川 石英 田中 洋介
103	田中 美帆	溶媒の流動特性が懸濁液のレオロジーに与える影響の数値解析	森西 晃嗣 村田 滋 北川 石英
104	鄭 俊	揚力型垂直軸風車の始動性能向上のための補助翼効果の数値解析	森西 晃嗣 西田 秀利 山川 勝史
105	馬場 達也	仔魚が有する膜ひれのアスペクト比が推進性能に与える影響の数値解析	森西 晃嗣 高木 知弘 山川 勝史
【13:00~16:00】(司会:西田教授)			
106	多幡 優真	圧力境界条件を考慮したシームレス仮想境界法による乱流解析に関する研究	西田 秀利 山川 勝史 森西 晃嗣
107	中川 修	MTHINC 法における疑似距離関数を用いた界面法線ベクトルの計算方法の提案	西田 秀利 森西 晃嗣 山川 勝史
108	西川 航平	マルチブロック・シームレス仮想境界法を用いた琵琶湖内循環流の数値シミュレーション	西田 秀利 森西 晃嗣 山川 勝史
109	原見 尚吾	形状最適化を目的としたモーフィング解析手法の構築	西田 秀利 山川 勝史 森西 晃嗣
110	三渡 大聞	無限小厚さを有する移動変形を伴う物体まわりの流動解析に関する研究	西田 秀利 森西 晃嗣 山川 勝史
111	左居 宗泰	変形気泡による一様せん断乱流の変調について	西田 秀利 山川 勝史 森西 晃嗣

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場への入室をセッションの発表者と審査員および司会が認めた者に限定します。入室できない人は webex でオンライン聴講して下さい。オンラインの情報は別途連絡致します。また、※印のセッションは、知的財産権を含む論文を有するセッションであり、その保護のため京都工芸繊維大学所属の教員および学生、関係企業の方のみが参加できます。聴講の際には、秘密保持誓約書へのご署名をお願いします。

【第2日】2月16日(火)

		主査	副査
【9:30~12:00】(司会:山川准教授)			
112	上田 浩平	運動する物体を利用した濃度拡散の促進と制御および分子通信への応用の検討	山川 勝史 西田 秀利 森西 晃嗣
113	竜田 一輝	大動脈弁の開閉運動が大動脈内の血流挙動に与える影響	山川 勝史 森西 晃嗣 西田 秀利
114	花田 祐輝	側ヒレを持つ移動物体周りの流体解析	山川 勝史 森西 晃嗣 西田 秀利
115	濱戸 昭太郎	スライディングメッシュ法を応用した相対運動を伴う物体周辺の流れ場解析	山川 勝史 森西 晃嗣 北川 石英
116	小倉 輝世太	ウイルス感染シミュレーション及び AI を用いた流体工学ワクテンの開発	山川 勝史 西田 秀利 北川 石英
【13:00~14:30】(司会:西田准教授)			
117	大森 千寛	熱処理による微細多孔質炭素電極の親水化が酵素型バイオ電池の反応界面拡大に及ぼす影響	西田 耕介 森西 晃嗣 北川 石英
118	平松 郁朗	乳酸バイオ電池における多孔質電極の親水性バインダー添加量が電極性能に及ぼす影響	西田 耕介 森西 晃嗣 北川 石英
119	船岡 諒一	X線イメージングによる燃料電池電極内の水分分布計測と電極貫通による液水排出促進	西田 耕介 森西 晃嗣 北川 石英
【14:40~17:10】(司会:北川准教授)			
120	熊野 友稀	マイクロ流体デバイス内におけるプラスチック粒子捕集の顕微鏡可視化	北川 石英 森西 晃嗣 山川 勝史
121	福本 真奈	低温環境でタンパク質発現可能な人工細胞の構築	北川 石英 森西 晃嗣 田中 洋介
122	里田 大志	撥水・超撥水面を利用した水平チャンネル内気泡流における気泡群輸送	北川 石英 村田 滋 山川 勝史
123	西村 雄大	空気充填ディンプルを有する水平チャンネル内流れの可視化画像計測	北川 石英 西田 秀利 山川 勝史
124	村山 巧	膜輸送計測に向けた人工脂質膜チャンバアレイの開発	北川 石英 射場 大輔 江頭 快

 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場への入室をセッションの発表者と審査員および司会が認めた者に限定します。入室できない人は webex でオンライン聴講して下さい。オンラインの情報は別途連絡致します。また、※印のセッションは、知的財産権を含む論文を有するセッションであり、その保護のため京都工芸繊維大学所属の教員および学生、関係企業の方のみが参加できます。聴講の際には、秘密保持誓約書へのご署名をお願いします。